

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|-----------------|----|--------|--------------|
| ○事業所名 | 鶴ヶ峰もえぎ本部（単位1） | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 11月 28日 ~ | | | 2025年 12月 8日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 27 | (回答者数) | 13 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 11月 28日 ~ | | | 2025年 12月 8日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 18 | (回答者数) | 14 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 12月 10日 | | | |

○分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | ・利用者の幅広い年齢層に合わせた活動を行っている。 | ・利用者の「好き」を大切に活動を組み込んでいる。 ・異年齢交流を通じて、社会性や協調性を育成。 | ・「ペア活動」「チーム対抗戦」など、年齢を超えた協力型プログラムを増やす。 ・タブレットを使った学習ゲームや動画制作活動で、幅広い年齢層が楽しめるコンテンツを提供。 |
| 2 | ・共有スペースがあり、施設以外にも活動スペースがある。（トランポリン、卓球） | ・共有スペース利用時に、職員配置や危険箇所の確認を行い、安全な活動を確保。 ・時間割を作成し他施設との共有を図っている。 ・合同イベントの実施 | ・季節イベント（クリスマス会、夏祭り）を共有スペースで開催し、子どもたちに特別感を提供 ・活動前後のチェックリストで安全性を確保。 |
| 3 | ・活動がマンネリ化しないように毎月、色々な活動を取り入れている。 | ・定期的にアイデアを出す。職員間で新規活動のネタを収集。 ・利用者の「やってみたい活動」を募る | ・高学年に司会・準備・振り返り係を任命し、異年齢協働を促進 ・以前行った活動のアンケートを実施し楽しかった活動を再度行う。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 保護者会など交流する機会が殆どない。 | ・日常業務が多く、保護者会の企画・準備に時間を割けない。 ・保護者の勤務時間や家庭の事情で、参加しやすい時間帯の設定が難しい。 | ・年間スケジュールに保護者会を組み込み、早めに告知。 ・保護者会の準備期間をスケジュールで確保する。 |
| 2 | 利用者の幅広い年齢層がいてまとまりづらいこともある。 | ・同じ活動でも年齢によって「簡単すぎる」「難しすぎる」ことがある。 ・低学年と高学年では遊びや学習のニーズが大きく異なる。 | ・活動を「難易度別」「役割分担型」に設定し、誰でも参加できるようにする。 ・活動後に「よかったこと」「次にやりたいこと」を子どもたちから聞き取り、改善に反映。 |
| 3 | ・職員の研修が少ない。 | ・日常業務が忙しく、研修に参加する余裕がない。 ・外部研修やオンライン研修の情報収集が十分でない。 | ・動画研修を導入し、隙間時間で学べる環境を整備。 ・法定研修+スキルアップ研修を年間計画に組み込み、事前に日程を確保。 ・厚労省や福祉系団体が提供する無料・低価格の研修を活用。 |